

# 平成26年度函館市公共下水道事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総括事項

平成26年度の処理区域内人口は242,715人となり、前年度に比べ2,432人減少したが、下水道普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は、前年度と同じ90.0%となった。

また、水洗化区域内戸数は136,163戸、水洗化済戸数は128,515戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は94.4%となった。

事業収益については、使用水量の減少による下水道使用料の減少が続いているものの、長期前受金戻入の増加等により、前年度に比べ1,931,650,803円の収入増（34.1%増）となり、総額で7,601,755,493円となった。

事業費用については、減価償却費の増加等により、前年度に比べ2,150,413,683円の支出増（43.1%増）となり、総額で7,139,748,727円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ218,762,880円減少し、462,006,766円の純利益を生じた。

建設改良事業については、南部下水終末処理場汚泥処理施設No.1乾燥設備工事を平成26年度から2箇年の継続事業として着手したほか、下水管渠工事、公共柵新設工事、大手ポンプ場脱臭換気設備工事等を予定どおり施行した。

なお、平成26年度予算決算から地方公営企業会計制度の見直しが行われたため、改定後の地方公営企業会計基準を適用しているほか、平成26年4月1日からの消費税率改定に伴う下水道使用料の改定を平成26年6月以後の月分として徴収する使用料から実施した。